

IV 事業概要

1 学芸事業

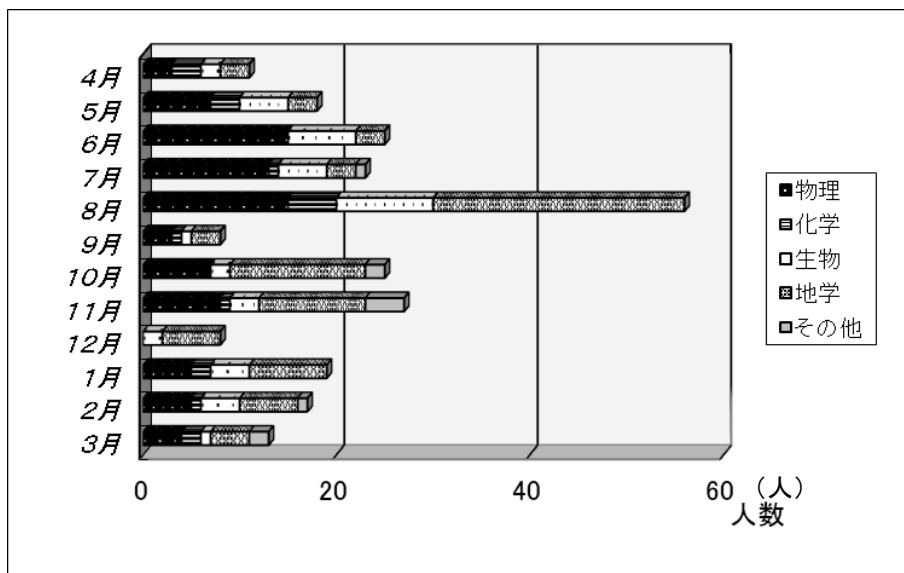
【2 調査・研究, 収集・収蔵・保管, 科学相談等】

(3) 科学相談

科学相談は市民からの科学に関する問い合わせに応じて、学芸員・指導主事・社会教育指導員が対応している。相談形式は、来館によるもの、電話によるもの、インターネット(メール)によるものおよび手紙によるものを対象としており、随時対応している。

30年度の相談件数は250件であり、29年度の227件を23件上回った。分野別では地学が最も多く、市民や報道関係者から岩石の鑑定に関する質問が持込やメールで寄せられた。今年度は、物理の相談件数が増えていることが特徴で、主な内容はロボットの仕組みや作り方、科学工作の相談である。今年度6月からスタートしたロボット広場の反響と思われる。月平均にすると20件程度であるが、月別では8月に56件と、全体の20%程度の相談が集中している。これは夏休みの自由研究に関する相談が多くなるためと考えられる。特に、化石・岩石・植物・昆虫の同定に関する相談が多く寄せられた。この件数には化石相談会の60件と、このムシ何ですか?相談会の61件は含まれていない。

<月別領域別相談件数>



<相談者区分>

